

特別活動（学校行事） 「手話合唱」

清川村立緑中学校



単元（題材）目標

- 全校生徒で協力し、意欲的・積極的な活動実践を通して、自己表現力を高める。
- 自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育成することを目指す。（総合的な学習の時間との関連）
- お互いの人権を尊重して意思疎通を行いながら共生することの重要性を理解し、公正・公平な社会の実現に努める。（道徳教育との関連）

（1）実施時期

令和元年6月～10月

（2）対象（学年等・人数）

全校生徒 64名

（第1学年25名、第2学年18名、第3学年21名）

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校全教職員 18名 外部講師 愛川町手話サークル 4名



（4）実施内容

- 「全校生徒による手話合唱」【昨年度に引き続き2年目の実践】
 - ①手話講演会の開催
 - ・聴覚障がいの方から日常生活の様子など伺い、簡単な手話を練習した。
 - ②合唱曲選定と手話練習
 - ・本校の生徒の実態や取組に合った合唱曲を音楽科が選び、その曲の手話を愛川手話サークルの方々にやっていただきビデオに収録した。
 - ・今年度の合唱曲は「たしかなこと（作詞・作曲 小田和正）」ビデオを使って、まずは教職員全員が手話を覚え、生徒たちへの支援がスムーズにできるようにした。
 - ・3年生のパートリーダーを中心に、音楽の授業や休み時間等を使い、パート別練習、全体練習と形を変えながら合唱と手話の練習を繰り返し行った。練習の最後には、パートリーダーが課題や次の練習までの目標を示し、よりよい表現につながるような確認を毎回行った。曲紹介をする代表生徒たちは、手話ができる教師の指導を仰ぎ、休み時間等を利用して手話による曲紹介の練習に励んだ。
 - ③手話合唱の披露
 - ・10月19日の「文化発表会」（本校体育館）、10月26日の「厚木愛甲地区中学校文化連盟芸術祭」（厚木市文化会館大ホール）の2日間、全校生徒による手話合唱を披露した。

（5）成果〈子どもの学び〉

- 全校生徒で表現する手話合唱の達成感はとても大きく、2年目の取組においても大きな成果を残したと判断している。
〈生徒感想〉
 - ・一曲全部の手話を覚えるのが大変だった。でも、できたときは達成感がすごかった。
 - ・手話をすると全校の一人ひとりの生徒が一つになれた気がした。

（6）その他

- 次年度も継続して、生徒たちによる手話合唱に取り組んでいきたいと考えている。